

市民の願い 一歩一歩実現

国の政治がひどいだけに、市民の暮らしを守る地方自治の役割が重要です。日本共産党の議員は、積極的提案で市政を動かす、市民の暮らし第一で全力で頑張ってきました。

くらし・福祉守って全力

住宅リフォーム助成制度が実現

森本ふみお市議が、議会で繰り返し提案し、二〇一一年度から実施。市民からも喜ばれ、業者の仕事も増え、毎年約6億円の経済効果がありました。市長は、二〇一三年度も実施を約束。

自動昇降機設置（ふれあいセンター）

神代町のふれあいセンターへ自動昇降機が設置され、体の不自由な方などに喜ばれています。

予約型乗合タクシーの試験運行開始

「市内循環バスの利用困難な高齢者に何らかの手だてを」と議会で要望し、二〇一二年度から予約型乗合タクシーの試行運行が開始されました。

子育て・教育の環境を充実

中学校卒業までの医療費無料化が実現

日本共産党は、四年前の市議選で「中学校卒業までの医療費無料化を」公約。その後の議会で繰り返し質問し、二〇一〇年度から入院のみ、二〇一一年度からは通院も中学校卒業まで無料化が実現しました。

幼稚園に3才児の受け入れ・給食の実施

共働きがあたりまえの中、若お母さん方から要望の強かった幼稚園の三歳児受け入れと給食が、この四年間に実現しました。



小中学校に扇風機の設置

地球温暖化で夏の猛暑が続く中、二〇〇八年三月議会で提案していた「小中学校の扇風機設置」が二〇〇九年度から実現できました。

市民のみなさんと共同し

場外舟券売り場反対を貫く

森本市議が反対を貫きました。多数の議員が賛成しました。

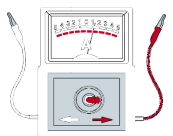
防災・安全の街づくり

地域防災計画の見直し

東日本大震災後の二〇一一年六月議会で、大震災を教訓に、井原市地域の防災計画の見直しを提案、市長が「平成二四年度の早い時期に見直す」と答弁。

機器購入し放射線量測定

福島原発事故後、市民の不安が広がっていました。二〇一一年九月議会で、機器を購入し定点測定を提案、実現しました。



国の悪政から

くらしを守ります

日本共産党

市議会議員
森本ふみお



市民の願い実現が原点です

森本ふみお市議の原点は、「市民の願い実現」です。市民の切実な願いに日ごろから耳を傾け、どうしたら実現できるか、議会は真剣勝負の場です。

24年間一度も欠かさず質問し
95回・586項目

森本ふみお市議は、初議会以来約24年間、毎議会質問し、この間95回、586項目を取り上げ、市民の声を市議会に反映させてきました。

3700回朝宣伝、毎週3回

森本ふみお市議は、毎週3回朝街頭に立ち、市政から国政問題まで、市民のみなさんに訴え続けてきました。昨年末3700回を越えました。

高すぎる国保税を引き下げます

「国保税が高くて何とかして欲しい」市民の声は切実です。井原市では4割の世帯が国保に加入。しかもその8割が200万円以下の世帯です。国や県の負担割合を増やすことを求めながら、市独自でも一般会計からの繰り入れを行い、国保税を引き下げます。

公共交通網を充実します

「買い物や通院が大変」車のない高齢者など深刻です。巡回バスは、バス停までが遠く、便も少なく不便です。予約型乗合タクシーの試行運行が始まりましたが、週二回では間に合いません。巡回バス、予約型乗合タクシーを総合的に検討し、交通網を充実します。



教育環境を充実します

学校を三学期制へ――「二学期制は季節感があわない」などの声が寄せられます。関係者の声に耳を傾け、元の三学期制に戻します。
教室にエアコンを――温暖化で夏の猛暑は異常です。教室にエアコンの設置をすすめます。
三〇人学級実現を――行き届いた教育のためにすべての学年で三〇人学級を実現します。



国の悪政は許しません

消費税の増税は許しません

消費税の増税では、くらしも経済も財政も破綻します。消費増税を中止し、大企業・富裕層に応分の負担を求め、雇用拡大と賃金引き上げで経済活性化を。

原発は即時廃止を

安全な原発はありません。一旦事故がおこれば取り返しがつきません。即時廃止こそ最も現実的。自然・再生エネルギーの急速な普及をこそ急ぐべきです。

TPP参加ノー

TPPは、関税撤廃に例外はありません。参加すれば、食料自給率は現在の40%が13%に激減し、農業も地域経済も破綻します。TPP参加は許しません。

平和憲法を守ります

憲法を変えて、自衛隊を「国防軍」にし、戦争ができる国に一安部政権のねらいです。改憲を許さず、憲法を守り抜きます。

井原民報
2013年 1月 号外

日本共産党井原市委員会
井原市井原町103番地
TEL 62-6200

日本共産党井原市委員会は次の見解を発表しました。